

育児休業給付受給資格確認票・出生時育児休業給付金支給申請書の記入例

第101条の33関係（第1面）
育児休業給付受給資格確認票・出生時育児休業給付金支給申請書
 （必ず第2面の注意書きをよく読んでから記入してください。）

帳票種別 1 0 4 0 7	1. 被保険者番号 5 0 5 0 - 9 9 9 9 9 9 - 9	2. 資格取得年月日 4 - 2 4 0 4 0 1
3. 被保険者氏名 育児 パパ	フリガナ(カタカナ) イクシ ハハ	
4. 事業所番号 1 3 0 0 - 7 6 5 4 3 2 - 1	5. 育児休業開始年月日 5 - 0 4 1 0 0 3	6. 出産年月日 5 - 0 4 1 0 1 0
8. 個人番号 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2	7. 出産予定日 5 - 0 4 1 0 0 3 (3 昭和 4 平成 5 令和)	
9. 被保険者の住所(郵便番号) 1 0 0 - 8 9 8 8	18. 被保険者の住所(漢字) ※市・区・郡及び町村名 東 京 都 千 代 田 区 霞 が 関	
	被保険者の住所(漢字) ※丁口・番地 1 の 2 の 3	
	被保険者の住所(漢字) ※アパート、マンション名等	
11. 被保険者の電話番号(項目ごとにそれぞれ左詰めでご記入ください。)		
12. 支給期間その1 (前日) (末日) 番号 5 - 0 4 1 0 0 3 - 1 0 1 6 (5 令和) 3		
13. 就業日数 14. 就業時間 15. 支払われた賃金額 3 2 1 2 1 0 0 0		
16. 支給期間その2 (前日) (末日) 番号 5 - 0 4 1 0 1 9 - 1 0 2 5 (5 令和) 1		
17. 就業日数 18. 就業時間 19. 支払われた賃金額 1 7 7 0 0 0		

(この用紙は、汚さないようにしてください。)

28. 期間雇用者の継続雇用の見込み <input type="checkbox"/>	21. 賃金月額(区分一日額又は総額) (1 日額) (2 総額)	22. 当初の育児休業開始年月日 元 年 月 日
23. 支給資格取得年月日 元 年 月 日	24. 支給資格区分 (5 令和)	27. 未支給区分 (0 未支給)
25. 支払区分	26. 金融機関・店舗コード	

上記被保険者が出生時育児休業を取得し、上記の記載事項に誤りがないことを証明します。
 令和 5 年 1 月 10 日 事業所名 千100-8988東京都千代田区霞が関1の2の2 (株) 行政工業 03-5253-1111 代表取締役 行政 統一

上記のとおり育児休業給付の支給資格の確認を申請します。
 雇用保険法施行規則第101条の33の規定により、上記のとおり出生時育児休業給付金の支給を申請します。
 令和 5 年 1 月 15 日 ○○ 公共職業安定所長 殿 コリゴナ IPP パパ 申請者氏名 育児 パパ

28. 払渡希望金融機関 フリガナ キュウフシンヨウキンコ イダバシ 名称 給付信用金庫 飯田橋 銀行等 (ゆうちょ銀行以外) 口座番号 (普通) 7654321 ゆうちょ銀行 記号番号 (総合) -	金融機関コード 9 8 9 0	店舗コード 0 9 7
--	--------------------	----------------

備考 賞金締切日 月 日 賞金支払日 月 日 通勤手段 (1) (毎月・3か月・6か月)	資格確認の可否 可 - 否	資格確認年月日 令和 年 月 日	通知年月日 令和 年 月 日
---	------------------	---------------------	-------------------

社会保険労務士 氏名	電話番号	所長	次長	課長	係長	係	操作者
---------------	------	----	----	----	----	---	-----

1「被保険者番号」

・被保険者証に記載されている被保険者番号を記入してください。

4「事業所番号」

・当該事業所の事業所番号を記入してください。

5「育児休業開始年月日」

・被保険者が育児休業を開始した年月日を記入してください。

6「出産年月日」、7「出産予定日」

・育児休業に係る子の出産年月日、出産予定日を記入してください。

8「個人番号」

・被保険者の個人番号を記入してください。

9、10「被保険者の住所」、11「被保険者の電話番号」

・被保険者の郵便番号、住所、電話番号を記入してください。

12、16「支給期間」

・出生時育児休業期間を記入してください。分割して取得した場合、16に2回目の出生時育児休業期間を記入してください。

13、17「就業日数」、14、18「就業時間」

- ・12、16の支給期間において、就業した日数をそれぞれ13、17に記入してください。
- ・12、16の支給期間において、就業した時間数をそれぞれ14、18に記入してください（1時間未満の時間数は切り捨て）。

15、19「支払われた賃金額」

- ・12、16の支給期間中に、支払われた賃金の額を記入してください。
- ・「支払われた賃金額」については、140ページを参照してください。

「事業所名(所在地・電話番号)、事業主名」、「申請者氏名」

・被保険者本人が氏名を記載し記入内容について事業主が証明してください。ただし、申請内容等を事業主等が被保険者に確認し、合意のもと「記載内容に関する確認書・申請等に関する同意書」を作成・保存することで被保険者氏名の記載を省略することができます。その場合、申請者氏名欄には、「申請について同意済み」と記載してください。

「払渡希望金融機関指定届」

「名称」欄には、育児休業給付の払渡しを希望する金融機関の名称及び店舗名を記入してください。
「口座番号、記号番号」欄には、被保険者本人の名義の通帳の口座、記号番号を記入してください。
※最近新設された金融機関の店舗や小規模な出張所など一部の金融機関については、コンピュータに登録されていない場合もありますので、ご利用になる場合は、あらかじめハローワークにご相談ください。

「備考」

備考欄に、賃金締切日・支払日、通勤手当について記入してください。

※「出生時育児休業中の就労に対して事業主から支払われた賃金」とは
出生時育児休業期間を含む賃金月分として支払われた賃金のうち、**基本給等**
の労働した日・時間により算定され支払われる賃金（勤務日数に応じて支払わ
れる通勤手当を含む。）については、出生時育児休業期間中の賃金の基礎とな
った日数・時間に応じて支払われた額とし、家族手当等の労働した日または時
間にかかわらず一定額が支払われる賃金は含めません。月給制等により、出生
時育児休業期間を含む賃金月において、賃金が減額されなかった場合には、支
払われた賃金額に出生時育児休業取得日数を乗じて得た額を、出生時育児休業
期間を含む賃金月の賃金支払対象期間の日数（賃金支払基礎日数）で除し（小
数点以下切り捨て）、当該額を「**出生時育児休業期間を対象とする賃金**」としま
す。